

日本学術会議社会学会・経済学委員会合同
包摂的社会政策に関する多角的検討分科会社会的包摂分科会

(第25期・第9回)

議事要旨

日時：令和5年2月5日（日）10：00～12：00

場所：オンライン開催

出席者：須田木綿子、岩崎晋也 大澤真理、木本喜美子、本田由紀、丸谷浩介、宮本太郎、
湯澤直美、和気純子

欠席者：住居広士、野口定久

議題

(1) 前回議事要旨の確認

(2) シンポジウムの企画について

以下のとおりシンポジウムの企画を決定した。

タイトル：孤独・孤立を越える包摂ビジョン

開催方法：オンライン

日時：2023年8月5日（土）13：00～16：00

プログラム：

趣旨説明 13：00～13：05（和気純子：日本学術会議会員・東京都立大学教授）

総合司会：岩崎晋也（日本学術会議連携会員・法政大学教授）

第1部：アクターと連携 13：05～14：15 （登壇者各20分）

・国レベルの取り組み：孤独・孤立対策の有識者会議から

（宮本太郎：日本学術会議連携会員・中央大学教授）

・ボランティアセクターの取り組み：「市民セクターが社会的孤立に取り組むための8つの『提案』」（早瀬昇：大阪ボランティア協会理事長）

・自治体の取り組み：東京都武蔵野市から（松下玲子武蔵野市長）【予定】

質疑：内容確認 10分

休憩：10分

第2部：包摂へのビジョン 14：25～15：25 （登壇者各20分）

- ・包摂される権利：犯罪をしたものの視点から
（丸谷浩介：日本学術会議連携会員・九州大学教授）
- ・包摂されずにつながる自由：（副題検討中）
（木本喜美子：日本学術会議連携会員・一橋大学名誉教授）
- ・「昭和」の仕組みを超えて：社会的包摂の再構築
（大沢真理：日本学術会議連携会員・東京大学名誉教授）

第3部 質疑&ディスカッション 15：25～15：55

（質問整理：湯澤直美 日本学術会議連携会員・立教大学教授）

閉会の言葉 15：55～16：00 須田木綿子：日本学術会議連携会員・東洋大学教授）

なお、未定の部分は調整を委員長に一任した。

（3）その他

シンポジウム前に、発題者による内容の打ち合わせおよびオンラインのリハーサルを行う。

以上